

臨時免許状申請理由書

年 月 日

茨城県教育委員会 殿

所 属 長 印

所轄庁等 印

(職名)

(氏名) の 学校助教諭免許状を申請しなければ

ならない理由は下記のとおりです。

記

備 考

臨時免許状授与希望年月日 年 月 日付
(採用予定年月日を記入すること。)

初回の授与年月日 年 月 日
(継続の場合のみ記入すること。)

臨時免許状申請理由書

所属長・所轄庁の両方に記名押印する。
(県立学校は所属長のみでよい)

【所轄庁】

- ① 市町村立学校の教員 ⇒ 市町村教育委員会教育長
- ② 県立学校の教員 ⇒ 県立学校長
- ③ 私立学校の教員 ⇒ 私立学校法人理事長
- ④ 大学附置の国立学校又は大学附置の公立学校の教員 ⇒ 大学学長
- ⑤ 株式会社立学校の教員 ⇒ 理事長又は学校設置会社の代表取締役
もしくは代表執行役

検定願に記載の出願日と同日か、それ以前の直近の日付で証明してください。

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

〇〇県立〇〇高等学校

校長 ○〇 ○〇



所

採用予定の職名を記入してください。

講師は「常勤」・「非常勤」の区分まで記入してください。
学校教育法上の職名(教諭・講師等)と異なる場合は、
その職が学校教育法上いずれの職にあたるかを、括弧書きで記入してください。

(職名) 常勤講師

(氏名) 免許 太郎 の 高等 学校助教諭免許状 を申請しなければ
(情 報)

幼稚園助教諭、養護助教諭の場合は、「学校」の部分に適宜修正してください。
中学校、高校、特別支援学校助教諭の場合は、助教諭免許状の下に、教科・領域を
(外国語(英語))等と括弧書きで記入してください。

臨時免許状は、とりうる手段を尽くしても普通免許状を有する者を採用することができない場合に限り、教職員検定に合格した者に授与できる免許状です。

- ・ 申請理由は、「○年○月○日から育児休業となる者の補充のためハローワーク及び〇〇に求人を出したが応募者がなかった」、「求人広告をして応募があったが、〇〇の理由により、採用するにふさわしい人物がいなかった」等の普通免許状を有する者を要することとなった経緯、採用することができなかった状況も含めて詳しく記入してください。
- ・ 広域通信制の学校については、勤務先施設名、担当業務等も記入してください。
- ・ 未更新の免許状を所持する者が出願する場合、上記に加え、任用(予定)期間、採用までに更新手続きが終了できない理由を詳しく記入してください。
※ 「更新手続きが間に合わない」だけでなく、間に合わないことが客観的に分かるよう、採用決定時期、受講申し込み時期等を含めて具体的に記入してください。
(「○月○日の採用打診後、速やかに更新講習を受講したが、証明書類が○月○日の採用予定日以降に届く予定であり、更新手続きが間に合わないため」等)
- ※ 更新講習未受講の場合は、上記に加え、受講済時間数、受講年月、受講大学、更新申請予定年月等の、更新計画を具体的に記入してください。
なお、受講終了後は速やかに、県教育委員会に回復申請を提出してください。
- ※ 更新講習受講計画は、地方公務員法第 28 条の 4、第 28 条の 5 又は第 28 条の 6 の規定に基づく定年退職者等の再任用又はこれに類する雇用形態の者で、申請免許に係る最新の知識経験等を有し、短期間の雇用の場合は記入不要。ただし、長期間雇用見込みの場合は、記入してください。

臨時免許状授与希望年月日

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日付

出願区分が「臨免継続」の場合で、採用予定年月日と新たに臨時免許状を授与すべき日が異なる場合は、次のように記入してください。

「臨時免許状授与希望年月日

令和○年 4 月 10 日※

(採用予定年月日を記入すること。)(採用予定年月日 令和○年 4 月 1 日)」

※臨時免許状授与希望年月日は、前回授与した臨時免許状の有効期間終了日の翌日を記入する。
(前回授与した臨時免許状の授与月日と一致する。)